

## 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算      支出科目    款：総務費      項：企画開発費      目：交通対策費

### 事業名    リニア中央新幹線活用戦略推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部    都市公園整備局    公共交通課    リニア推進係

電話番号：058-272-1111 (内 2734)

E-mail：[c11134@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11134@pref.gifu.lg.jp)

1    事業費    34,500千円 (前年度予算額：31,500千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	31,500	0	0	0	0	0	0	0	31,500
要求額	34,500	0	0	0	0	0	0	0	34,500
決定額									

## 2    要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・ 県、県内全市町村、観光団体、産業経済団体、有識者からなる「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」では、リニア中央新幹線の開業効果を県内全域に波及させるため、平成26年3月に、「リニア中央新幹線活用戦略」を策定し、リニアを活用した地域づくりを戦略的に進めているところである。(アフターコロナの展望を見据えて、来年度までに同戦略のアクションプランを策定する予定)
- ・ 開業を5年後に控え、リニア岐阜県駅建設予定地である中津川市をはじめとした東濃地域では、リニア開業に向けた地域振興施策が具体化されつつあるが、さらに、事業の加速化や新たな展開が期待される。

### (2) 事業内容

○リニア中央新幹線活用戦略推進事業費補助金

#### 【事業目的・内容】

- ・ 県内市町村が行うリニア中央新幹線活用戦略の推進に資する事業に対して補助し、リニア開業効果を県内全域に波及させる。

### 【補助対象事業】

- ・市町村が行うリニア中央新幹線活用戦略（基盤整備戦略）の推進に資する事業であって、岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会基盤整備部会等において検討されたもの。

### （３）県負担・補助率の考え方

【補助率】 1 / 2（以内）

※国等から当該補助対象経費を対象として補助金等が別に交付される場合は、当該補助金等の額を減じた額を対象とする。県又は県が出資する団体等による助成対象となる事業は対象としない。

### （４）類似事業の有無

- ・無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	34,500	リニア中央新幹線活用戦略推進に対する助成。 補助対象事業 69,000 千円×補助率 1/2 以内
合計	34,500	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### （１）各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
  - 「3 地域にあふれる魅力と活力づくり」
    - 「（２）次世代を見据えた産業の振興」
      - 「⑤産業を支える広域ネットワーク・インフラの整備」

### （２）後年度の財政負担

- ・リニア活用戦略の実現に向け事業実施を促進していく必要があり、リニア開業（2027年、令和9年）を見据えて、継続的に実施予定。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	リニア中央新幹線活用戦略推進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村
補助事業の概要	（目的）リニア中央新幹線活用戦略の推進 （内容）市町村が行うリニア中央新幹線活用戦略（基盤整備戦略）の推進に資する事業への補助。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （ ）
補助効果	リニアによる地域振興
終期の設定	終期令和9年度 （理由）品川-名古屋間開業時期。

(事業目標)

<p>・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>リニア岐阜県駅の整備を含め、リニアを活用した地域づくりを戦略的に進めることにより、リニア開業を契機とした更なる県の発展を目指す。</p>
---

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%
②	リニア中央新幹線の開業効果を高めるため、県、市町村、観光団体、産業経済団体で、リニアを活用した地域づくりを推進しているが、開業は5年後（予定）であり、その効果を定量的に表すことは困難であることから、指標は設定しない。					%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	7,614千円	16,610千円	3,622千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	中津川市が実施する「JR美乃坂本駅自由通路等概略設計（2か年事業）」、及び「リニア岐阜県駅周辺デザイン基本設計（2か年事業）」への補助を実施 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	戦略の推進は、リニア開業効果を県内に広く普及させるための取組みであるため、県の関与が必要。一方で、個々の施策は市町村が主体となって広く実施する必要があることから、その促進のための支援は妥当である。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50~100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）</p>	
(評価) 2	市町村が行うリニア中央新幹線活用戦略の推進に資する基盤整備事業の促進に寄与している。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 2	リニア中央新幹線活用戦略研究会基盤整備部会等において、市町村が行う基盤整備事業の検討がなされている。

(今後の課題)

<p>リニア開業は県勢発展のまたとないチャンスである一方で、首都圏等へのストロー現象が懸念され、魅力あるまちづくりや地域振興施策を行わなければ逆効果となる可能性もあることから、戦略を強力に推進していく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>リニア開業予定である令和9年度を見据えて、引き続き事業を継続していく。</p>
--